

令和6年4月22日提出

第158回土橋貞恵翁祭

標記について、次のとおりお知らせします。

日時	令和 6年 5月 9日(木) 10時~11時
場所	諫早市立森山東小学校体育館
内容	<p>別紙 第158回土橋貞恵翁祭実施要項のとおり</p> <p>土橋貞恵翁祭は、主催は森山地域の小中学校や自治会等で構成された「橋貞恵翁祭実行委員会」で、毎年、貞恵翁の命日である5月9日に開催している地域行事。</p> <p>式典後に、森山地域の小中学校が持ち回りで発表を行っており、今年は森山中学校(2年生)による朗読を予定している。</p>
問い合わせ先	諫早市 森山支所地域総務課 秀島 電話番号:0957-36-1111(内線 73-104) E-mail:moriyama_somu @city.isahaya.nagasaki.jp
担当課	同上
備考 (記事解禁日等)	写真・映像撮影などに関しまして一部、配慮いただくことがございますので、取材にお越しの際は事前にご連絡をいただきますよう、お願いいたします。

第158回 土橋貞恵翁祭

令和6年5月9日（木）午前10時～

諫早市立森山東小学校体育館

〈式次第〉

- 1 開式のことば
- 2 祭文朗読
- 3 参 拝
- 4 頌徳歌斉唱
- 5 閉式のことば
- 6 発表

森山中学校（2年生）のみなさん

つち はし てい けい おう
土 橋 貞 恵 翁

（1776～1865）



土橋多助は、安永5年(1776)諫早長田に生まれ、のちに「多助ぼっさん」の名で親しまれるようになった、社会奉仕の先覚者である。

はじめ多良岳の金泉寺で読み書きを学び、後に佐賀藩の諫早家屋敷に仕えた。何事にもまじめに立ち働いたため信用も厚く、慕われていた。

その後、長崎の医者吉松道碩に入門。13年かけてオランダ医学を学び、「土橋永春」の名をもらう。

文化2年(1805)森山杉谷の地で開業した。自らの生活は常に質素にし、貧しい患者を救い、「医は仁術なり」を地で行く慈善徳行の人であった。医療で得た財は、石橋の架橋、道路の改修、溜め池の築造等の社会奉仕にすべてを還元した。

後に、諫早領主は、数々の善行に報いるため、「貞恵」の称号を授けた。

稀世の偉人、土橋多助は晩年、仏門に入り(知足庵)、90歳の長寿を全うした。

主 催 : 土橋貞恵翁祭実行委員会

後 援 : 諫早市教育委員会